韓国文化論Ⅰ

科目ナンバリング　LIG-101
選択　　2単位

李　　英蘭

1. 授業の概要（ねらい）

この授業の目的は、朝鮮半島、特に韓国に対する理解を深めることである。ある国の社会や文化を理解するためには、歴史理解は欠かせない。そのため、春期の「韓国の社会と文化Ⅰ」では、歴史も踏まえつつ、今現在の韓国社会と文化を様々な観点から概説する。
授業は基本的に講義形式になるが、映画やドラマ、ドキュメンタリー等の映像資料も適宜利用する。

2. 授業の到達目標

①韓国の歴史・社会・文化について基礎的な事を理解する。
②韓国を客観的に観察できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

平常点（出席、小テスト、課題、授業への参加度など）：50%
期末試験：50%

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

5. 準備学修の内容

授業開始前に前回の授業内容を確認すること。

6. その他履修上の注意事項

①欠席をしないこと（3分の1以上欠席した場合、特別な事情がない限り、評価の対象とならない。）
②積極的に授業に参加すること。
③期末試験未受験の場合、自動的に「不合格」となる。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス・韓国についてのQuiz
【第2回】　韓国の概観
【第3回】　韓国の歴史の概観①
【第4回】　韓国の歴史の概観②
【第5回】　韓国の住文化
【第6回】　韓国の衣文化
【第7回】　韓国の食文化
【第8回】　韓国の言語文化（言葉から見た韓国と日本）
【第9回】　韓国の世界遺産と観光地
【第10回】　韓国の教育事情
【第11回】　韓国の年中行事と冠婚葬祭
【第12回】　韓国の宗教と儒教文化
【第13回】　映像資料①
【第14回】　映像資料②
【第15回】　期末試験とまとめ（オンライン）

＊必要に応じて進度や内容は変更されることもある。